

教育・文化

これでは小学校給食が危ない

住田景子議員(緑系) 調理員の欠員に、臨時職員を充てている理由は、現場の声は、問題は何か。どう改善するか。

調理室の設備等へ各校の改善要望は、今後の改善予定は、水道が受水槽方式の学校はどこか。その問題は何か。

防災計画に、給食室の役割を位置づける考えはあるか。

教育長 作業効率を高めること等が理由で、学校も利点を挙げており、問題はないと考える。

臨時職員は、作業チーム等の責任のある仕事は担当しない。

施設の増築要望は61件うち27件が改善済みで、平成15年度に10件程度を改善予定である。

11校が校舎棟・給食棟ともに受水槽方式であり、維持管理費の増大等が問題点である。

市立公園などの比較的大規模な公園の園路は制限がないが、小規模公園では遠慮してもらっている。近隣では2市が同様で、5市は特に禁止していない。

今後大規模な公園を設置する場合は、検討したい。

学校ボランティア

苗村洋子議員(緑系) 学校ボランティアには、多くの学生や地域の大人が参加しているが、その目的、評価と課題は、ボランティアの意見はどのように反映されるのか。

今後の展望は、地域の教育力を生かすことが目的で、児童・生徒の健全育成に大きな成果を上げていくと評価しており、学校や児童・生徒からも高い評価を得ていると考えている。

課題はボランティアと学校のニーズがうまく合うようなシステムづくりが必要と認識している。

学生ボランティア連絡協議会や、校長が聞くことで、意見を生かすようにしている。

知識や経験を蓄積し、ボランティアを育てることを検討できないか。

都立公園などに設置予定のドッグランの評価は、市内公園でドッグランを検討できないか。

市長 小平市ペット情報登録制度を実施している。ペットの実数は把握していない。

中央公園などの比較的大規模な公園の園路は制限がないが、小規模公園では遠慮してもらっている。近隣では2市が同様で、5市は特に禁止していない。

今後大規模な公園を設置する場合は、検討したい。

都立高校再編による子どもたちへの影響は

木村まゆみ議員(共産) 都立高校の再編計画について、都教育委員会から事前の意見聴取等の場があったか。

この10年の市内の高校受験の傾向と定時制高校進学者数は、子どもたちの思いや各家庭の戸惑いなどをつかんでいるが、都に対し、統廃合ではなく、子どもたちの改善を求める意思表示をすべきと思いがどうか。

進学傾向の大きな変化は見られない。10年間で計29%が定時制高校に進学している。

進路指導推進協議会等で情報を整理している。

学校図書館に子どもの豊かな読書をはぐくむ環境を

立花隆一議員(公労) 司書教諭が学校図書館の環境改善に

ペット情報登録制度とは

ペットを手放すこととする人と飼育を希望する人を登録し、両者を紹介する小平市の制度。

愛犬と一緒に(中央公園)

学校図書館を機能させたい

住田景子議員(緑系) 学校図書館に、司書の専門職を専任

置いてほしいがどうか。

図書ボランティアの評価は、市立図書館は学校にどういう形で支援ができるかと考えるか。

平成15年度予算で、選本はだれがどういう形で行う予定か。

開室時間は、小・中学校でそれぞれどうなっているか。

教育長 司書教諭を中心に、学校図書館の充実を図りたい。

平成14年度学校図書予算の配分基準と予算の消化状況は、学校図書館蔵書の廃棄数や整備率の状況はどうか。

教育長 中学校では、1週間当たり2時間分軽減される。

司書教諭等を中心として、学校図書館の充実を図りたい。

子どもがともに学び合う学校に

石川 紀議員(緑系) この10数年で福祉は大きく変わり、課題はあるものの、それでもノーマライゼーションが共通認識になりつつある。

しかし、学校のノーマライゼーションは進んだのだろうか。障害があってもなくても、皆が地域の学校に通い、ともに学び合う教育を、実現・保障するのが公の役割だと思いが、どう考えているか。

教育長 学校施設のバリアフリー化を進めるほか、養護学校や心身障害者級との交流教育などを進めている。現在、国では障

グリーンロードを散策する人をどう誘導し、憩いの場をどう提供しようと考えているか。

市全体で水路の活用について、新たな課題と問題点は、

大沼田用水の水辺の復活と(仮称)延命寺公園づくり

鴨打喜久男議員(政和) 新小金井街道の立体交差整備に伴い、大沼田用水との間の土地の整備計画があると聞くが、そこに水辺を復活させる発想はないか。

用水、公園づくりに当たり、市民の意見を聞く方法と日程は、

市民の意見を聞く方法と日程は、

地域防災計画及び自主防災組織の育成等

高橋信博議員(政和) 自主防災組織の結成を促進する必要があり、結成率、促進計画等はどうか。

市が地域に配備している消火器の状況は、自治会設置の消火器の実態調査や配置基準等の考え方はどうなっているか。

災害時にボランティアの役割は重要と思うが、連携は、

市が加入している。今後も多くの地域で組織化が図れるよう、啓発等の努力をしていく。

地域配備消火器は97基である。自治会設置の消火器は10世帯に1か所の割合で補助対象としている。実態調査については、今後実施に向けて検討していく。

ボランティアは総合防災訓練に参加しており、訓練等を通して連携を図っていく。

小川駅西口の駅前再開発

桜田 誠議員(公労) 小川駅西口再開発事業の、現在の進捗状況はどうか。

市立公園整備検討会で市民の意見を聞き、市の構想をまとめ、秋には都に要望したい。

防災

東口改札の設置

桜田 誠議員(公労) 鷹の台駅のバリアフリー化として、東口改札口の設置について、西武鉄道に交渉して実現する考えはないか。

市立 西武鉄道によると、現時点で計画はないとのことだが、市も西武鉄道も必要性を認識しており、駅全体のバリアフリー化について慎重に検討したい。

西武鉄道としては東口設置の考えはないことから、エレベーターと東口改札口の設置経費は、全額市の負担になるとのことであり、東口改札口の設置は現状では困難とされている。

しかし、バリアフリー化は社会的な潮流でもあり、今後も西武鉄道に粘り強く要請していきたい。

鷹の台駅をだれにも優しい駅に改善するために

木村まゆみ議員(共産) 前回の定例会での一般質問以降、西武鉄道に働きかけをしたか。

また、前回の答弁で言っていた「働きかけのタイミング」とは、子ども議会では2人が鷹の台駅のバリアフリー化を質問し

たが、その際の答弁の具体化は、公園側の改札口新設を働きかけてほしいが、費用の概算は、西武鉄道と協議の場を持つべきかどうかが、

順次計画の検討をしたい。設置は困難と考えており、経費の概算は算出していない。今後、慎重に検討したい。

小平市の町並みを守るまちづくりを

島村草子議員(共産) 市長が考える市の「街としてのデザイン」はどのようなものか。

まちづくり条例等で町並みを守る考えはどうか。

ワークショップなどで、広く市民の知恵と意見を生かすこととはできないか。

用途地域の見直し対象地域については、地域住民の意向を尊重して見直すべきと考えるが、どのような手法を考えているか。

市長 豊かな自然や災害に強い都市づくりなどが目標である。条例化の考えはないが、都市計画法等のルールのもとでのまちづくりを推進していきたい。

目的に合ったさまざまな手法で、まちづくりを推進したい。見直し検討箇所の素案を市報でお知らせするとともに、説明会を開催して意見を聞きたい。

鷹の台駅をだれにも優しい駅に改善するために

木村まゆみ議員(共産) 前回の定例会での一般質問以降、西武鉄道に働きかけをしたか。

また、前回の答弁で言っていた「働きかけのタイミング」とは、子ども議会では2人が鷹の台駅のバリアフリー化を質問し



バリアフリー化が望まれる鷹の台駅